

# 学力向上に向けて

○本年度の取り組みについて

## ○基本的な生活習慣（早寝・早起き）を身に付ける

- ・定期的に就寝時刻の確認をして意識づけを行う。
- ・生活チェックシートを連絡帳にはり、活用する。 毎月第1週のみ
- ・家庭での協力を学校・学年便り、学級懇談等で呼びかける。

## ○学力の表現方法として、テスト形式に慣れる土曜授業の時間の活用

- ・ワーク・ドリルによる単元の復習や仕上げテストの時間
- ・記述式や文章題の設問に慣れ、表現力を鍛える時間の併用

## ○教科授業において学習方法をパターン化，思考力・判断力・現力を高める

- ・調べ・考え・話し合い・学び合う学習を学習単位の中に設ける。
- ・校長参加のトモニ学習を実施し、授業力向上に努める。

## ○漢字の定着・計算力の向上

- ・定期的な小テストの実施
- ・漢字練習の工夫(早めの読みへの取組・作文帳を用いた日記指導)
- ・学力アップタイムは国語と算数を隔週で行う  
(計算領域のドリルの継続・TT活用・時間を計る等)

## ○少人数指導

- ・算数での少人数指導・習熟度別指導の実施（4～6年）
- ・TT指導の充実（1～3年）

## ○読書習慣を身に付ける

- ・朝の読書の継続
- ・図書室の活性化（代本板の活用）
- ・学級文庫の充実（学年役員による町立図書館からの貸し出し）
- ・週末読書を家庭学習に位置づける。（週末に学校の図書を1冊貸出）
- ・子ども新聞の掲示・活用

## ○文章を書く

- ・作文帳を用いた日記，学習後の感想，ゲストティーチャーへのお礼の手紙等
- ・視写の実施

## ○話す

- ・朝・帰りの会のスピーチの継続
- ・発表の仕方の形式の共通理解
- ・言葉づかいの徹底 職員室の入り方
- ・音読練習を家庭学習に位置づける(家庭学習の手引き\*等)
- ・短歌，俳句，ことわざ，四字熟語等の掲示，音読，視写

## ○聞く

- ・町会時の校長先生や先生の話の振り返りを実施

## ○みなみWAタイムの実施

## ○読解力

- ・読書活動の推進。
- ・資料,事物,現象,グラフや表などの読み取り（社会科と関連させて）

## ○ローマ字

- ・パソコンでのローマ字入力（3年生以上）